

長岡中央総合病院 倫理委員会 オプトアウト書式

①研究課題名	薬の調整で経口摂取可能となった一症例
②対象者及び対象期間、過去の研究課題名と研究責任者	
治療目的で入院された患者 2020.1月～3月	
③概要	
<p>ヘルニア嵌頓術後に経口困難となり経鼻経管栄養管理となった摂食嚥下障害患者を担当した。脳血管疾患は無く、管理栄養士と相談し栄養状態の改善を行い、理学療法士と連携して高頻度のリハビリテーションを1か月提供した。日常生活動作の改善はみられたが、摂食嚥下機能の改善はみられなかった。摂食嚥下機能を低下させた要因を、薬剤性と考え主治医と看護師、薬剤師と相談して服薬調整を行ったことで、劇的に摂食嚥下機能が改善した。日常生活動作は更に改善し、段階的摂食嚥下訓練を行ったことで、在宅でも提供できる食事を経口摂取可能となり、介護保険を利用して退院が可能となった症例を経験した。</p>	
④申請番号	(倫理委員会申請時の受付番号。未採番の場合は空欄。)
⑤研究の目的・意義	摂食嚥下機能を低下する要因として、脳血管疾患や筋力の低下以外に薬剤性によることもある。今回の症例から薬剤が摂食嚥下障害へ与える影響が大きいことを理解してもらいたい。
⑥研究期間	2020.1月～3月
⑦情報の利用目的及び利用方法(他の機関へ提供される場合はその方法を含む。)	第2回新潟県リハビリテーション専門職学術大会で発表。
⑧利用または提供する情報の項目	疾患名、性別、年代、現病歴、既往歴、日常生活動作、摂食嚥下機能、服用した薬剤
⑨利用の範囲	学術大会内での発表のみ
⑩試料・情報の管理について責任を有する者・連絡先	長岡中央総合病院 リハビリテーション科 片桐啓之
⑪お問い合わせ先(照会先及び研究への利用を拒否する場合の連絡先)	長岡中央総合病院 リハビリテーション科 片桐啓之